

金属材料の最新動向

参加費
無料!

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所ものづくり支援センターと兵庫県立大学は、共催でものづくり向上セミナーを開催しています。

今回は、金属材料の最新動向について、基礎から応用に至るまでを分かり易く解説していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 令和4年1月26日(水) 13:30~16:10 (受付 13:00~)

会場 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(ARIC) 2F 会議室

定員 50人

講演

あいさつ

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 専務理事 島田 浩一郎

コンピュータを駆使した新合金の開発と鉄合金の応用実証

13:35~14:45

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 教授 竹内 章 氏

2004年に台湾と英国の研究者により、高エントロピー合金と呼ばれる新合金が発表され、国内外の金属・合金関係の研究機関および企業などで注目を集めています。本講演では、コンピュータを利用したこの新合金の開発状況を紹介いたします。さらに、2010年頃に本国で開発され、モータ等への実証化が行われた新しい鉄合金について、大学における開発段階からモータなどへの応用実証、商品化に至るまでの一連の過程について解説します。

注)「エントロピー」は「乱雑さ」の程度を示し、高エントロピー合金とは、複数の金属元素が乱雑に「ごちゃ混ぜ」になっている合金です。

溶融金属からの急冷を利用した金属新素材の開発

15:00~16:10

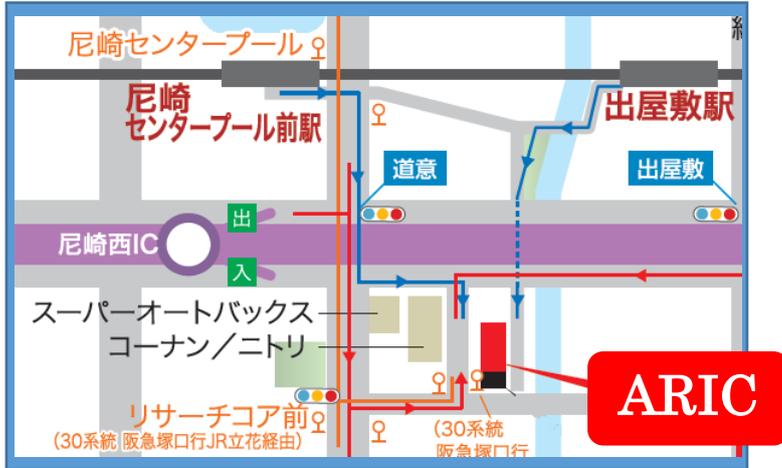
東北大学 金属材料研究所 産学官広域連携センター (兵庫県立大学兼任)
特任准教授 網谷健児 氏

2019年に開設した金属新素材研究センターは、兵庫県立大学の運営により金属3D積層造形技術の技術向上および県下企業への普及を目指していますが、センター名称の通りに金属新素材の研究や開発支援も行っています。例えば、積層造形に用いる粉末製造に使用されるガスアトマイズ法は、溶融金属を高圧ガスで噴霧し急冷して金属新素材を作製する手法の一つであり、急冷技術と金属新素材は密接な関係にあると云えます。本講では、金属を急冷することで得られる現象からアモルファス金属等の急冷技術の応用例までを、当センターの装置群の紹介を交えながら解説します。

注)アモルファス金属とは、金属原子を主体として、その原子が不規則なまま固体になっている材料。非晶質金属とも言う。高強度、優れた磁気特性などの特徴を持つ。

アクセス

尼崎リサーチ・インキュベーションセンター (ARIC)
〒660-0082 尼崎市道意町7-1-3
Tel. 06-6415-2500



申込方法

参加申込書にご記入の上、近畿高エネルギー加工技術研究所宛にFAX.またはE-mailでお申し込みください。E-mailの場合は、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

FAX. : 06-6412-8266

E-mail : monodukuri@ampi.or.jp

申込期限

令和4年1月20日(木)

参加費

無料

新型コロナウイルス感染対策として、セミナーの定員は会場の定員の50%としています。当日はマスクを着用してご参加下さい。受付で健康状態の口頭確認、検温、手指消毒にご協力願います。また、状況により中止する場合は前もってご連絡しますので、申込書の連絡先は必ずご記入下さい。

問合せ先

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所
Tel. : 06-6412-7736 FAX. : 06-6412-8266

〒660-0083 尼崎市道意町7-1-8
E-mail : monodukuri@ampi.or.jp

参加申込書

ものづくり向上セミナー2022『金属材料の最新動向』 令和4年1月26日(水)

送付先 : (一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 FAX. 06-6412-8266

企業(団体)名		
〒 住所		
お名前 (ふりがな)	連絡先電話番号	メールアドレス
代表者 ()		
()		
()		
()		